

令和4年度 研究概要

<p>所属名</p> <p>カリキュラムセンター</p>	<p>研究会議名</p> <p>技術・家庭科研究会議</p>
<p>研究主題</p>	<p>「主体的・対話的で深い学び」を実現する技術・家庭科の授業づくり ～GIGA 端末を活用した学習指導を通して～</p>
<p>資質・能力 育成を目指す</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
<p>研究内容</p>	<p>技術・家庭科では、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成を目指している。</p> <p>平成29年に告示された中学校学習指導要領では、「育成を目指す資質・能力」の実現に向けて、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている。</p> <p>また、かわさきGIGAスクール構想では、インターネットにつながる中で、クラウドによって学びを蓄積したり、双方向の学びを可能にしたりすることで、かわさき教育プランの基本目標である「自主・自立」「共生・協働」の実現を目指している。</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組むためには、かわさきGIGAスクール構想により実現した1人1台端末環境と高速大容量の通信ネットワーク環境を最大限生かして日常的に活用するとともに、これまでの教育実践とGIGA端末を最適に組み合わせることが重要である。</p> <p>本研究会議では、技術・家庭科の学びをより確実なものとするために、「主体的・対話的で深い学び」の実現の視点から授業づくりに取り組み、その手段としてGIGA端末をどのように活用することが効果的か検証する。また、研究した内容を「GIGA端末活用ハンドブック技術・家庭科版（仮称）」にまとめ、市内の技術・家庭科を指導する教員に周知する。</p>